

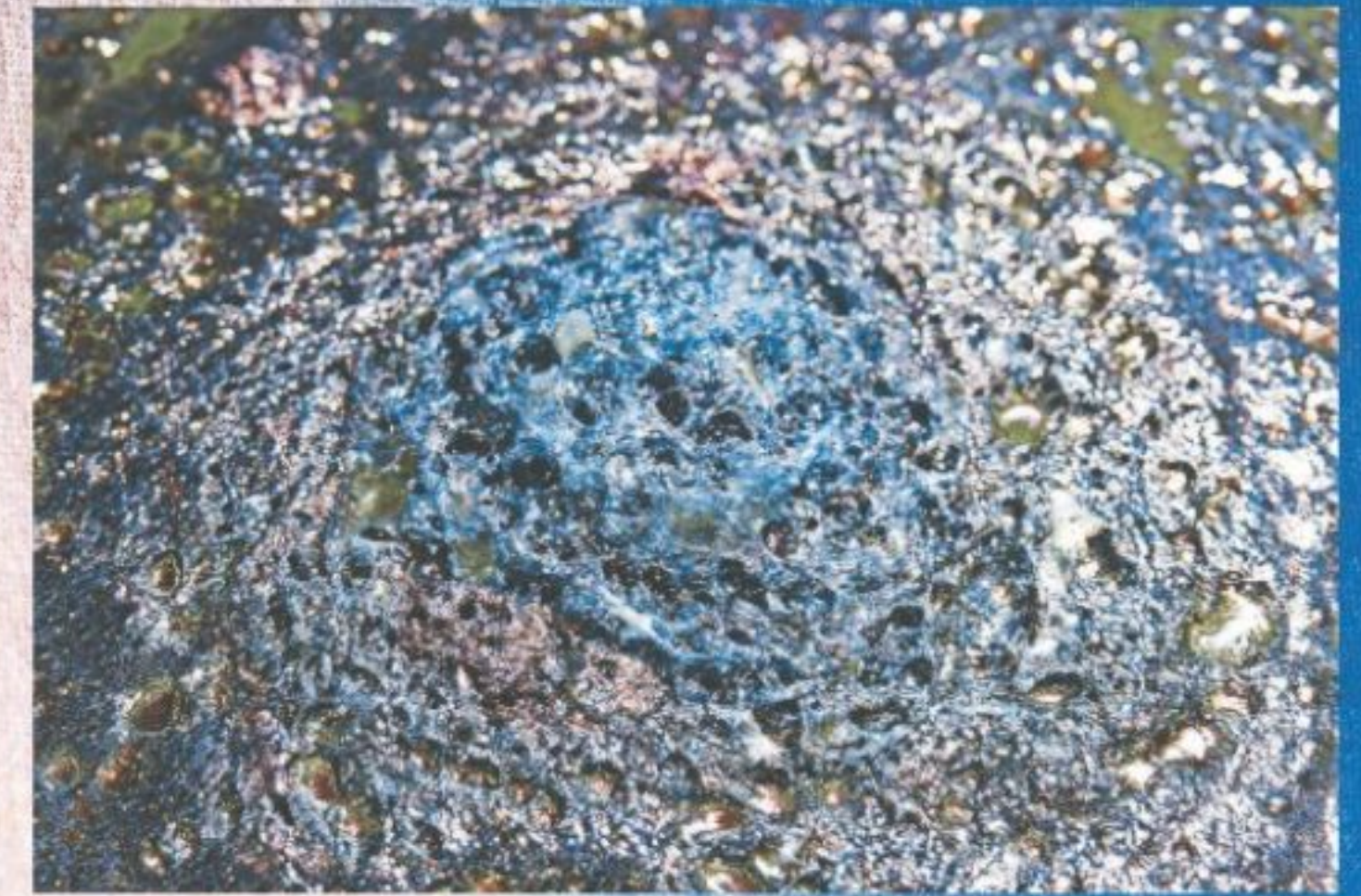
環境・体に優しい藍

藍 がめのふたを外すと、藍液の表面に浮かぶ泡「藍の華」が青い光をたたえた。ガーゼ素材のドレスを浸し、しばらく待って引き揚げる。空気に触れると新たな命を吹き込まれたように鮮やかな藍色に変わった。真剣なまなざしの庄司拓也さん(50)が表情を緩ませる。「これこそ発酵の力。藍染は生きている服なんです」

2020年7月、海陽町小川に染色工房「ハイカラーハンドワークス」をオープンさせた。伝統技法「天然灰汁発酵建て」の藍染と泥染や草木染を組み合わせたシャツなど個性あふれる藍染製品を次々に生み出している。

藍染体験も受け入れている。ゲストハウスを併設しており、泊まりがけでじっくりと藍染に打ち込める。本物の「ジャパンブルー」を求め、フランスやオーストラリアなど海外からも訪れるという。

東 京・原宿の古着ショップで10年以上働いた庄司さんは、幼い息子がアトピーを発症したのを機に、健



【上】藍液の表面で青色に輝く「藍の華」。うっすらと赤みを帯びている

【左】仕上がりを確認しながら染色する庄司さん＝海陽町小川の染色工房「ハイカラーハンドワークス」

【下】爪先まで藍色に染まった庄司さんの手

「ハイカラーハンドワークス」代表
庄司拓也さん(50) 海陽町

